

# 個人投資家の皆様へ 三井物産会社説明会



MITSUI & CO.

2021年3月

三井物産株式会社 IR部

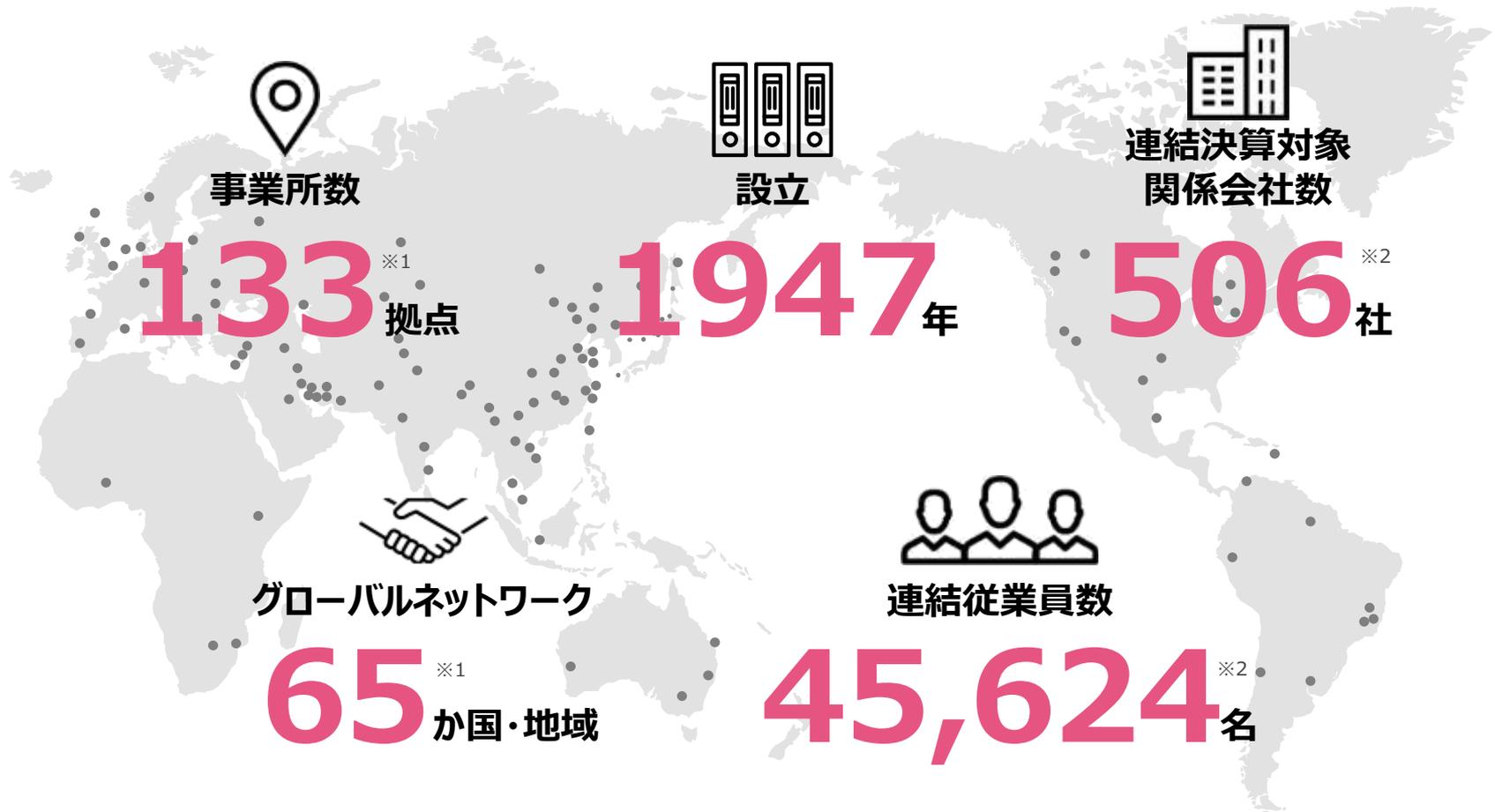
証券コード:8031

# 目次

- 1. 会社概要**
- 2. 三井物産の強み**
- 3. 成長戦略**
- 4. 業績見通し・株主還元**

# 1. 会社概要

# 数字で見る三井物産



# 事業分野

- ◆ 7セグメントから構成
- ◆ 様々な事業での知見やノウハウを合わせることで、より高い価値創造に挑戦



## 2. 三井物産の強み

# 創業以来受け継ぐ価値創造の歴史

- ◆ 時代に沿って、新たな事業創出・機能発揮により社会的課題を解決、世界の持続的成長に貢献すると共に当社も成長

「必要なモノやコトを必要としている人々に届ける」という使命を果たすことで、戦後の日本そして世界の経済発展に寄与

生業の**トレーディングと事業経営の両輪**で成長するビジネスモデルに発展。  
社会・産業構造の変化を機会と捉え、事業領域と収益基盤を拡大

「強み」を活かした  
更なる価値の創出

## 強み① 総合力

トレーディング/物流商内×事業経営  
「商品軸」×「地域軸」×「機能軸」



投資先事業の価値を向上  
新たな事業を創出

### ■ 米国液化天然ガス事業（カムロンプロジェクト）

米国ルイジアナ州で天然ガス液化設備を建設・運営  
天然ガスの調達と、製造されたLNGを販売

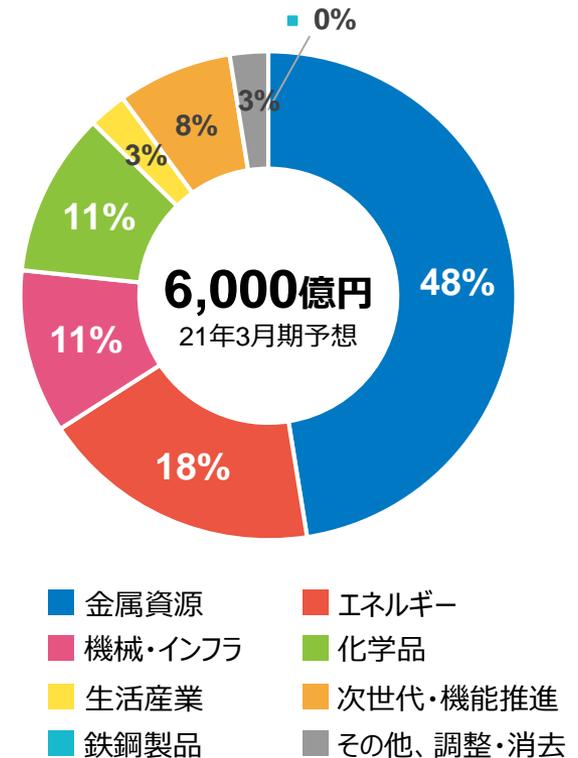
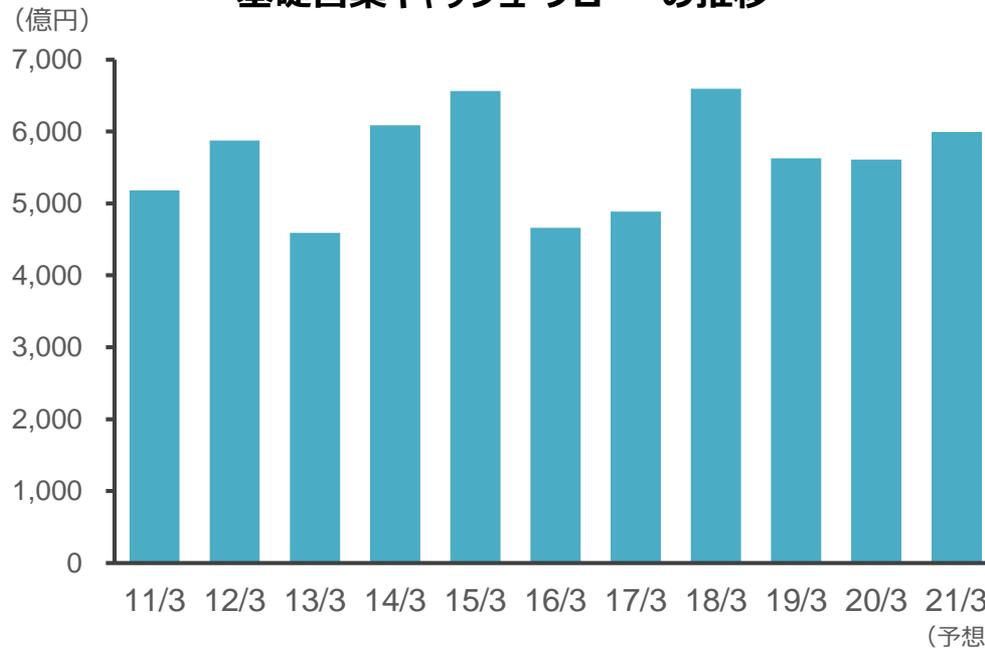
発揮された総合力



## 強み② キャッシュ創出力

- ◆ 事業環境が変わる中でも安定的なキャッシュ創出を実現
- ◆ 21年3月期の基礎営業キャッシュ・フローはコロナ禍でも前年同期を上回る見通し
- ◆ 金属資源、エネルギー、機械・インフラ、化学品から成る基盤事業が貢献

基礎営業キャッシュ・フロー※の推移



※ 当社の定量目標指標で、営業活動に係るキャッシュ・フローから運転資本の増減に係るキャッシュ・フローを除いたもの  
15/3以降はリース負債の返済による支出額を減算した金額に修正済み

### 強み③ 多様なプロ人材

- ◆最大の資産は人材。幅広い地域・産業・商品に精通したグローバルグループでの「その道のプロ」が、パートナー・取引先・地域社会と共に、社会や産業が直面する課題の解決に資する事業を創出



## 強み③ 多様なプロ人材

### 映像 「種子事業の取り組み」



人口増加や気候変動が世界的な課題となる中、食料の安定供給をどう実現するか、人々の健康志向の高まりや多様化する美味しさのニーズにどう対応するか、当社社員がパートナー企業と共に現場で日々奮闘する姿をご覧ください。

### 日本の種を 世界の野菜生産・販売市場へ



坂本 龍太



太田 純平

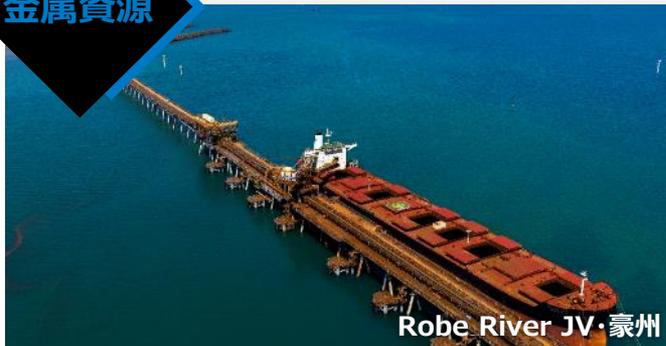
# 3. 成長戦略

# 基盤事業の収益力強化

- ◆ 「強いものをより強くする」戦略推進
- ◆ 既存事業群の再編、再構築による競争力強化

## 金属資源

- ◆ 鉄鉱石事業基盤維持・拡充
- ◆ 原料炭ポートフォリオ良質化



## エネルギー

- ◆ ガス/LNG事業の着実な進展
- ◆ トレーディング



## 機械・ インフラ

- ◆ 事業ポートフォリオの良質化
- ◆ FPSO事業拡充



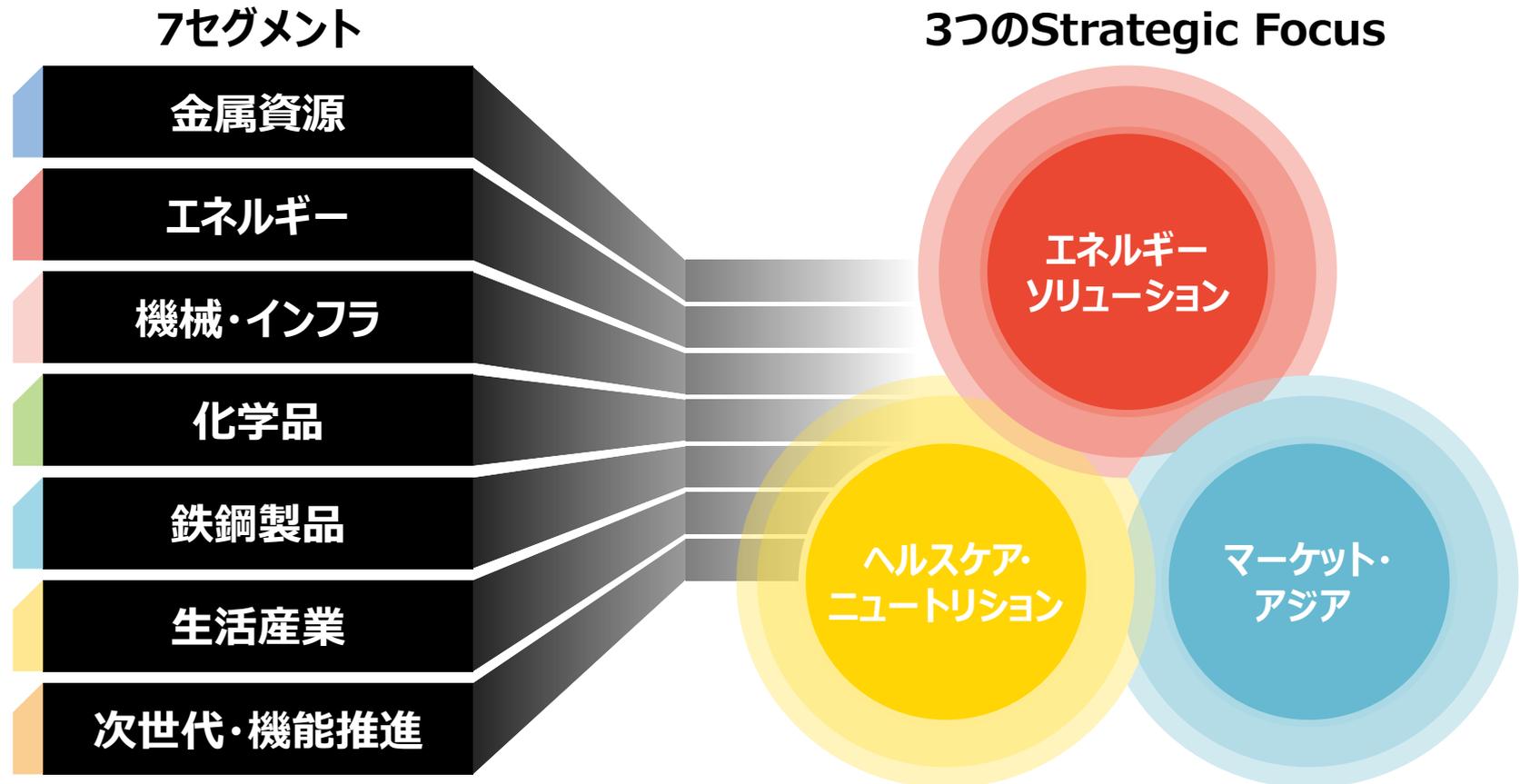
## 化学品

- ◆ トレーディング機能高度化
- ◆ 環境関連事業の推進



# Strategic Focus (戦略的注力領域)

- ◆ 従来からの7セグメントを軸とした戦略に加え、全社結集して注力する領域をStrategic Focusと特定
- ◆ 総合力を発揮し、事業と価値の創出を狙う



## Strategic Focus エネルギーソリューション

- ◆ エネルギー事業で培った社内外の知見・人員を結集し、気候変動問題を産業的に解決
- ◆ 過去から取り組んできたLNG開発・発電事業を軸に、低炭素・脱炭素社会の実現に貢献
- ◆ 商社として初めて2050年のNet-Zero Emissions（カーボンニュートラル）を目標に掲げ、エネルギーソリューション本部を設立

### エネルギー市場の動向



FirstElement Fuel社・米国

### 注力分野

- ◆ **再生可能エネルギー**  
ワンストップで需要家に提供
- ◆ **次世代燃料**  
ガリン需要の見込まれる地域での商業化
- ◆ **水素、排出権**  
水素社会の実現、大規模輸送サプライチェーンの構築

# エネルギーソリューション 分散型太陽光発電事業



- ◆ 2050年温室効果ガスNet-Zero Emissions実現に向けた取り組みの一つとして分散型太陽光発電事業を米国を中心に展開。今後、ノウハウを活かしグローバルな展開を狙う

## 従来

- 大手電力会社
- 大規模発電
- 発電と需要地が遠い

## 変化

- 再生可能エネルギーコスト削減
- デジタル技術での効率化
- 顧客ニーズの変化 (SDGs)
- 自然災害への耐性強化

## 今後

従来からの電力システムに加えて  
分散型エネルギーを活用した  
複合的なソリューション提供が必要



## Strategic Focus ヘルスケア・ニュートリション



- ◆ 外部環境：アジアにおけるヘルスケア市場の高成長とデータ活用の加速
- ◆ IHHをプラットフォームとして、収益基盤の拡大と将来へ向けた成長戦略を推進

### 社会課題



### 技術進歩



事業の中核はアジア最大手の  
民間病院グループ「IHH」



グループ経営基盤強化

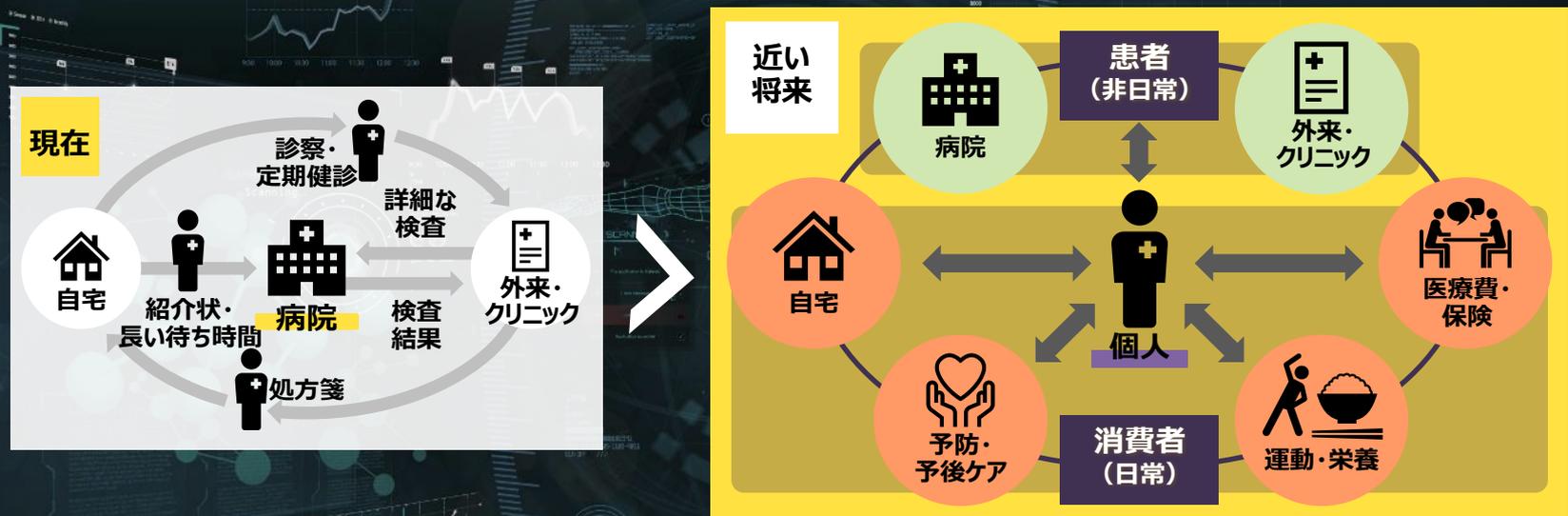
中国やインドへの地域拡大

病院周辺事業の統合・スピンアウト

膨大な医療データの活用

# ヘルスケア・ニュートリション

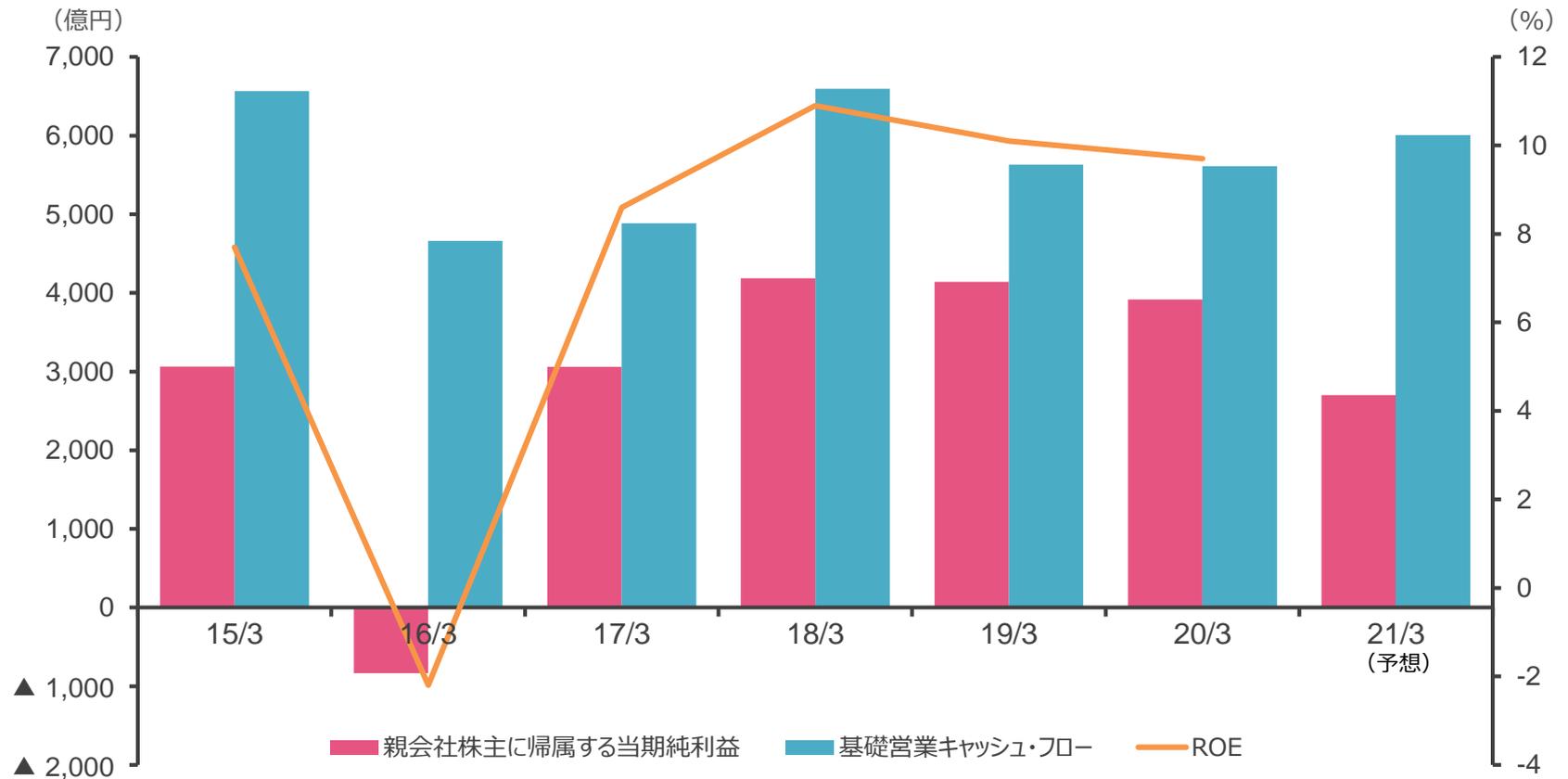
- ◆ 将来構想：「病院中心」から「個人中心」の医療へ、治療を中心としたヘルスケアから未病・予防・健康を包含するウェルネス領域へ、医療パラダイムシフトを主導
- ◆ 事業プラットフォームと総合力により、複合的な価値発揮、新たな事業基盤を確立



## 4. 業績見通し・株主還元

# 業績見通し

- ◆ 新型コロナウイルス感染影響下でも、通期業績予想を上方修正
- ◆ 21/3期業績は基礎営業キャッシュ・フロー6,000億円、当期利益2,700億円を見込む



# 新型コロナウイルスによる影響

◆引き続きダメージコントロールの徹底と、コロナ後の事業環境と社会構造に則した事業の拡大に尽力

## 金属資源

中国向け需要が強ク、鉄鉱石価格は堅調に推移。一方、石炭価格は低迷  
鉱山事業は概ね通常操業継続

## エネルギー

輸送・産業用向けの需要が落ち込み油価が下落したが、下期にかけて一部地域では  
需要が回復。油価も回復傾向

## 機械・インフラ

移動に関わる事業への影響が大い一方、自動車関連は下期にかけて回復傾向  
飛行機や旅客関連は厳しい状況が継続

## 化学品

需要・市況共に落ち込んだが、下期にかけて自動車向けの素材を中心に回復  
市場の回復局面でのトレーディング事業が堅調に推移

## 鉄鋼製品

下期にかけて自動車・インフラ向けを中心に鋼材需要・市況共に回復

## 生活産業

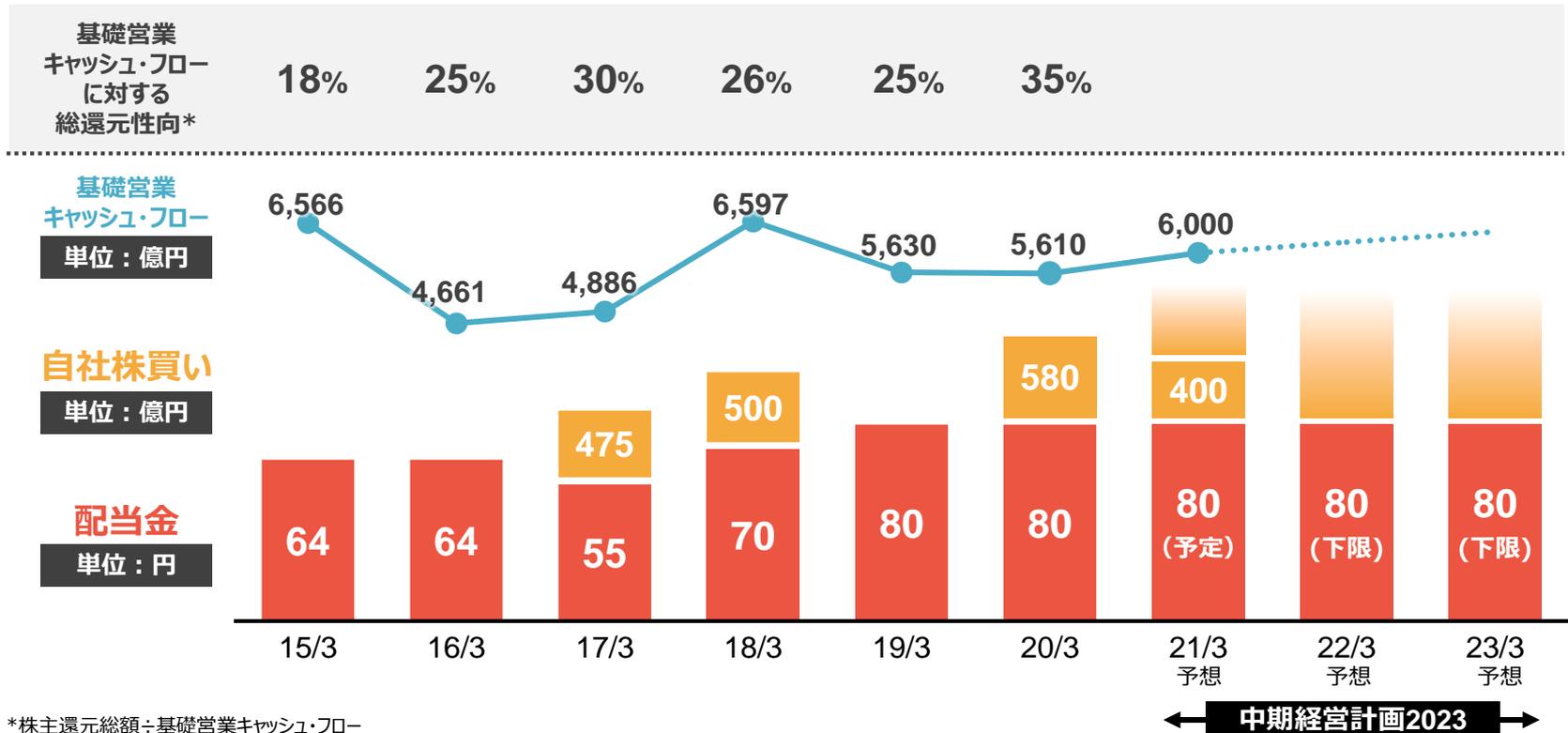
病院事業はコロナ影響緩和、遠隔診療導入等の施策により回復基調  
ファッションや業務用食材の需要が落ち込んだが回復傾向、内食等の巣籠り需要を獲得

## 次世代・機能推進

電子材料関連の需要減や与信リスク増大の一方で、デジタル・セキュリティ需要やテレビ  
ショッピング等巣籠り需要の取込み、コモディティ取引や物流事業も堅調

# 株主還元方針

- ◆ 基礎営業キャッシュ・フローの向上を通じた配当の安定的向上、自社株買い含む株主還元引き上げ
- ◆ 本中経期間中は、一株あたり80円を年間配当額の下限に設定、自社株買いも機動的に推進
- ◆ 21年2月末～500億円を上限とする自社株買いを実施（21年4月末に終了予定）



# 当社株価推移

2017年04月03日 - 2021年03月15日

• 三井物産 (東証) 2,387.5 • TOPIX 1,968.73



# 経営理念

## Mission

### 世界中の未来をつくる

大切な地球と人びとの、豊かで夢あふれる明日を実現します。

## Vision

### 360° business innovators

一人ひとりの「挑戦と創造」で事業を生み育て、社会課題を解決し、成長を続ける企業グループ。

## Values

「挑戦と創造」を支える価値観

### 変革を行動で

私たちは、自ら動き、自ら挑み、  
常に変化を生む主体であり続けます。

### 多様性を力に

私たちは、自由闊達な場を築き、  
互いの力を掛け合わせ最高の成果を生みます。

### 個から成長を

私たちは、常にプロとして自己を高め続け、  
個の成長を全体の成長につなげます。

### 真摯に誠実に

私たちは、高い志とフェアで謙虚な心を持ち、  
未来に対して誇れる仕事をします。

## 【メール配信サービスご登録のご案内】

ご登録頂くと、当社ウェブサイトに掲載される当社の重要な案件内容を、公表と同時に自動でメール受信できます。

携帯・PCアドレスの登録が可能です。

お手持ちの携帯やタブレットなどで下記のバーコードを読み取って頂くか、当社ウェブサイトの「IRメール配信サービス登録画面」にてご登録下さい。



IRメール配信サービス登録画面

<https://www.mitsui.com/jp/ja/ir/support/mail/index.html>

当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.mitsui.com/jp/ja/ir/index.html>

## 【ご注意】

本資料にて提供されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本資料およびこれらの情報の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

以下の事象が、当社及び連結子会社の事業、経営成績及び財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

### <20年3月期末に有価証券報告書で特定した重要なリスク>

- 新型コロナウイルス感染拡大によるリスク
- 事業投資リスク
- カントリーリスク
- 気候変動に関するリスク
- 商品価格リスク
- 為替リスク
- 保有上場株式の株価リスク
- 与信リスク
- 資金調達に関するリスク
- オペレーショナルリスク
- 役職員による法令及び社内規定の遵守違反に関するリスク
- 情報システム及び情報セキュリティに関するリスク
- 自然災害、テロ・暴動遭遇等によるリスク

### <それ以外の主要なリスク>

- 当社固有のリスクではない、一般的なリスク
  - 世界マクロ経済環境の変化によるリスク
  - 法的規制に関するリスク
  - 競合リスク
  - 人的資源の制約に関するリスク
- リスクとして認識はしているが、影響に重要性がないもの
  - 金利リスク
  - 確定給付費用及び確定給付債務に関するリスク
- IFRSに基づく連結財務諸表の作成にあたっての前提条件の置き方による影響

なお、旧三井物産と現在の三井物産には法的継続性はなく、全く別個の企業体です。

360° business innovation.



MITSUI & CO.